

2022年2月10日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号  
 会 社 名 GMO インターネット株式会社  
 代 表 者 代表取締役会長兼社長 熊谷 正寿  
 グループ代表  
 (コード番号 9449 東証第一部)  
 取締役副社長  
 問い合わせ先 グループ代表補佐 安田 昌史  
 グループ管理部門統括  
 T E L 03-5456-2555(代)  
 U R L <https://www.gmo.jp>

## 2021年12月期業績と前期実績との差異に関するお知らせ

2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の業績につき、前期実績との間に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2021年12月期通期連結業績と前期実績との差異

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 期 実 績 ( A )	210,559	27,893	27,136	10,284	93 円 00 銭
当 期 実 績 ( B )	241,446	41,097	43,393	17,527	159 円 69 銭
増 減 額 ( B - A )	30,887	13,204	16,256	7,243	—
増 減 率 ( % )	14.7%	47.3%	59.9%	70.4%	—

## (1) 差異の理由

当期は、多くのサービスが国内 No.1 となっているインターネットインフラ事業は、オンライン消費の定着もあり、決済事業・EC 支援を中心に好調に推移し、最高業績を更新しました。インターネット広告・メディア事業は、広告市況の回復に加え、前年の商材入替・営業手法の刷新・原価低減といった取り組みの成果があり、堅調に推移しました。インターネット金融事業は、活況だった前年同期比では取引高は軟調な推移となりましたが、店頭 FX での収益性改善に加え、外貨 ex byGMO のグループジョインもあり、最高業績を更新しました。暗号資産事業は、暗号資産交換事業においては、暗号資産価格の上昇を受け取引高が好調に推移する中、認知度向上と取引高シェア拡大を目指して積極的なマーケティング

活動を展開しました。また、暗号資産マイニング事業においては、マイニングの収益率が上昇したことから、最高業績を更新しました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は 241,446 百万円(前年同期比 14.7%増)、営業利益は 41,097 百万円(同 47.3%増)、経常利益は 43,393 百万円(同 59.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は 17,527 百万円(同 70.4%増)といずれも最高業績を更新しました。詳細につきましては、本日発表の「2021 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

## 2. 2021 年 12 月期通期個別業績と前期実績との差異

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 期 実 績 ( A )	64,251	5	7,207	7,040	63 円 66 銭
当 期 実 績 ( B )	66,872	4,208	14,681	11,828	107 円 77 銭
増 減 額 ( B - A )	2,621	4,202	7,473	4,788	—
増 減 率 ( % )	4.1%	—	103.7%	68.0%	—

### (1) 差異の理由

売上高は、契約件数の伸びにともない好調に推移したクラウド・ホスティング事業が牽引し対前年で堅調に推移しました。営業利益については、プロモーション費用の適正化に加え、前年同期に業績連動賞与の計上があったことから大幅増となりました。経常利益は、グループ会社の業績拡大にともない受取配当金収入が増加し増益となりました。当期純利益は、前年同期に投資有価証券の売却がありましたが、段階利益の増加に伴い増益となりました。

以 上